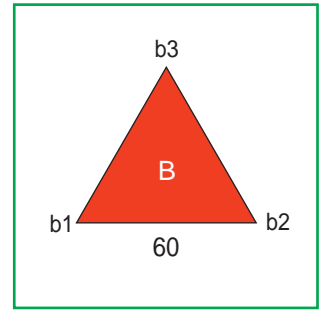


EQUILATERAL TRIANGLE.1

### 2つの正三角形によるヘキサグラムとプロニティー

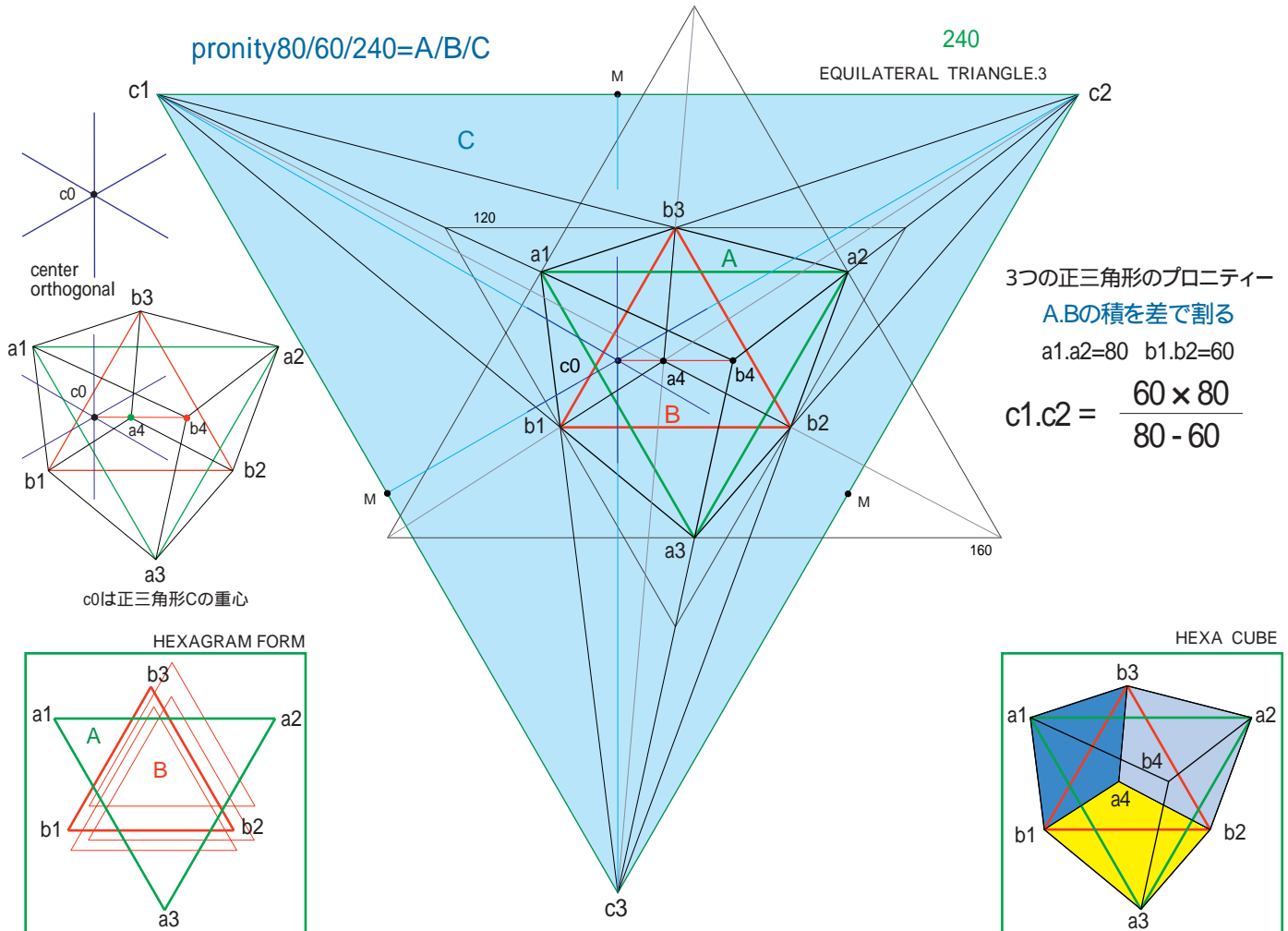
< 3つの正三角形がつくる三位一体の比例空間 >

大きさの違う2つの正三角形(A.B)をヘキサ型に置くと、6つの頂点を結ぶ六角形の対辺を延長して出来る3つの交点c1.c2.c3は、正三角形(C)の3つの頂点となり、c1.c2.c3の辺の数値は、2つの正三角形A.Bの辺比からプロニティーの公式で求められる。



EQUILATERAL TRIANGLE.2

### 3つの正三角形によるヘキサグラムとその焦点



3つの正三角形のプロニティー

A.Bの積を差で割る

a1.a2=80 b1.b2=60

$$c1.c2 = \frac{60 \times 80}{80 - 60}$$

c0は正三角形Cの重心

HEXAGRAM FORM

HEXA CUBE

#### ヘキサグラムの形の意味

2つの正三角形の大きさと位置の関係によるヘキサグラムの形は、3つの焦点となる、もう一つの正三角形の位置と大きさを決定すると同時に、ヘキサグラムに外接する立方体の形を決定します。

#### ヘキサグラム+焦点の3つの正三角形がつくる

< 三位一体の比例 > の法則性

大きさの違う2つの正三角形(A.B)からなるヘキサグラムの頂点を結ぶ6本の線分の延長線は、2本ずつ3つの焦点に収束し、正三角形Cをつくる。

正三角形AとBの大きさの比率が、正三角形Cの大きさを決定する。

2つの正三角形(A.B)の相対的な位置関係が、焦点となる正三角形Cの3頂点の位置を決める。

3つの正三角形の比例関係は3通りに循環し(正三角形A.B=C .A.C=B. B.C=A)2つの正三角形の比がもう一つの正三角形の大きさを決定する。

正三角形Cの1辺=正三角形A.Bの1辺の長さの積を長さの差で割る

正三角形Bの1辺=正三角形A.Cの1辺の長さの積を長さの和で割る

正三角形Aの1辺=正三角形B.Cの1辺の長さの積を長さの差で割る

$$C=A * B / (A - B) \quad B=A * C / (A + C) \quad A=B * C / (C - B)$$

#### ヘキサグラムと立方体

ヘキサグラムの6つの頂点と正三角形Cの頂点を結ぶ12本の放射線は、立方体の稜線(a1.b3.a2.b2.a3.b1.a4.b4)となり、2次元図形のヘキサグラムの形が3次元の立方体の形を決定している。